

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.95

【内容】 トランスミッションの不具合を最後まで面倒見て欲しい

・ 車名：輸入車 ・ 登録年月：平成12年 ・ 走行距離：不明

ディーラーでトランスミッション（ＡＴ）を持込みにて交換作業して貰ったが、交換作業終了後の作動確認でシフトがバックに入らない症状が確認された。トランスミッションは、５年程前に他の専門店で手持ち分をオーバーホールして貰い自宅で保管していたものだという。その専門店で問い合わせをすると、今回の場合は保証しないでもないが、実際にトランスミッションを分解してオーバーホール時に原因があると確認できれば保証をするとの答えであった。

その答えを持ってディーラーの担当者に伝えたと、当事業場にはこの車両のサービスマニュアルがなく既に部品も多数欠品が出ているので、分解すると組み立てできない可能性があるとの、このトランスミッションの分解整備はできないと言われた。

ディーラーとして、ユーザーからの依頼があればどんなことをしても作業するのが使命ではないか？振興会からディーラーに意見して貰えないか？という問い合わせ。

【対応】

珍しく相談者が来会されたので対面で対応した。ディーラーということで検索してみると会員工場ではあったが、まずは詳細を聞くことから始めた。

その中で振興会の立ち位置や成り立ちを説明し、できること、できないことを理解して貰えるように話をしたが、相談者の希望が『振興会からディーラーに意見して貰いたい』という振興会の立場を超えるものであったので、それに関してはできないとお断りした。心情的にはディーラーで、全てを任せ原因究明の上で最後まで作業をして貰えれば言うことはないが、先に専門店でオーバーホールだけを頼み５年間もトランスミッションを寝かしていたのも相談者。今回のディーラーの動きに何の落ち度もないと思える。受けるのも受けないのもディーラーの自由であると伝えた。

今回の場合、専門店の対応が門前払いということでもないのでもう少し話をしてみても良いのではないか。専門店の保証を受ける条件がトランスミッションを分解しての確認と言うが、例えばディーラーで分解をしていない診断でも良いか？それ以外にも、ディーラーで分解整備をして費用が掛かっても構わないと考えているのであれば、分解整備は専門店で依頼し、トランスミッションの脱着をディーラーに依頼するのも一つの方法かもしれない。現状では動きようがないので、ディーラーに押し付けるという一つの方法ではなく他の選択肢も考えて欲しいとお願いした。

相談者はディーラーと専門店、それ以外にも他の事業者も視野に入れて考えてみると言って帰った。

数日後に相談者から電話があり、ディーラーの担当者に現状で分かり得る情報をデータにして貰ったので、これを使い専門店で交渉してみると言っていた。

大型トラック・バス エアドライヤおよび エア系装置の定期点検整備のお願い

日野自動車株式会社

近年の大型車ブレーキ及びエア系装置は電子制御によりデバイスが高精度化し、エア系に含まれる水分や油分の影響で思わぬ機能不良や大きなトラブルの原因となる場合があります。

このため、従来以上にエアドライヤおよびエア系装置の点検整備が重要となっておりますので、確実な定期点検整備の実施をお願いします。

■対象車種

2010年以降 大型トラック（プロフィア）、大型バス（セレガ）



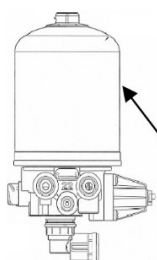
■エアドライヤの乾燥剤・フィルタを交換せずに使い続けると…

エアドライヤは車両エアの水分や油分を除去する重要な働きがあります。エアドライヤの乾燥剤およびフィルタを交換しないまま使用し続けると、エアシステムに水分や油分が入り込み、ブレーキ装置等の故障を引き起こすおそれがあります。

<故障の事例>

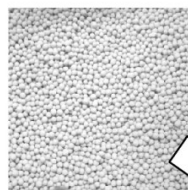
- ・エア系；バルブ等の機能不良およびエア洩れ
- ・ブレーキ系；引き摺り、急制動（カックンブレーキ）、ロック、パーキングブレーキ解除不良
- ・駆動系；トランスミッション変速不良、クラッチ切れ・接続不良

モデルによりカートリッジ
交換方式採用（非分解）

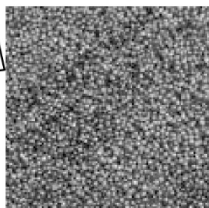


カートリッジ

新品の乾燥剤



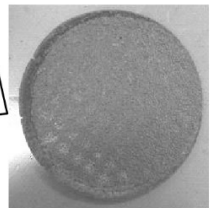
劣化した乾燥剤



新品のフィルタ



劣化したフィルタ



■定期点検整備

点検・交換時期	点検交換・整備項目
1 年毎 ※ 1 年毎または 60 千 km (モデルにより異なります)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアドライヤのカートリッジまたは乾燥剤、フィルタ、ゴム部品は全て交換してください ・電子制御ブレーキ(EBS)用バルブの排気孔にオイルが付着している場合は、バルブのゴム部品の劣化が考えられます。日野販売会社の整備工場で点検・整備を受けて下さい
5 年毎 ※モデルにより 6 年毎	電子制御ブレーキ用バルブ類を交換してください <ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキシグナルトランスミッタ ・プロポーションナルリレーバルブ ・バックアップバルブ ・アクスルモジュレータ ・トレーラコントロールバルブ



ポイント

- ・詳細はメンテナンスノート、取扱説明書、整備解説書をご参照ください。
- ・メンテナンスノート等の内容でご不明な点がございましたら最寄りの日野販売会社までお問い合わせください。

検査予約無断キャンセル状況(11月分)

11月分のキャンセル多発事業場はありませんでした。ご協力ありがとうございます。
引き続き、予約の申し込みとキャンセルには、十分にご配慮をお願い致します。

なお、業務委員会では、予約情報を共有し安定した予約制度とするため、検査前日の18時以前に予約が取り消された件数を会報に掲載することとしましたのでお知らせいたします。

安定した予約制度となるため、確実な予約を行うようご協力下さい。

11月分のキャンセル件数は次のとおりです。

(台)

普通車	241
軽自動車	955
合 計	1,196

整備作業中の事故発生について

自動車整備事業場にて、下記のとおり整備作業中の事故が発生しましたのでお知らせいたしますとともに、会員事業者の皆様には引き続きご注意頂きますようお願いいたします。

記

【事故概要】

- ・北陸信越管内 【令和元年11月24日 16時ごろ（重傷）】

完成検査場において、検査員がブレーキテストの踏板上に車両を停車させた後、Dレンジのままパーキングブレーキをかけ忘れて車両を離れてしまったことにより、車両が前進したため、車両の前に入り止めようと試みたものの、壁と車両の間に挟まれ、肋骨等を骨折した。

携帯メールを利用した情報配信サービスをご利用ください

現在振興会・商工組合からの情報は、会報とホームページで提供しておりますが、会員の皆様の携帯電話へメールで、研修・講習などの日程やその他お知らせを配信するサービスを開始しました。「受講を忘れていた」や「受講日を知らなかった」などを防げるサービスです。

お申し込みは、次のとおり簡単でスピーディーに登録できますので、是非ご利用下さい。

なお、ガラケー・スマートフォン、どちらでもご利用できます。

登録の手順

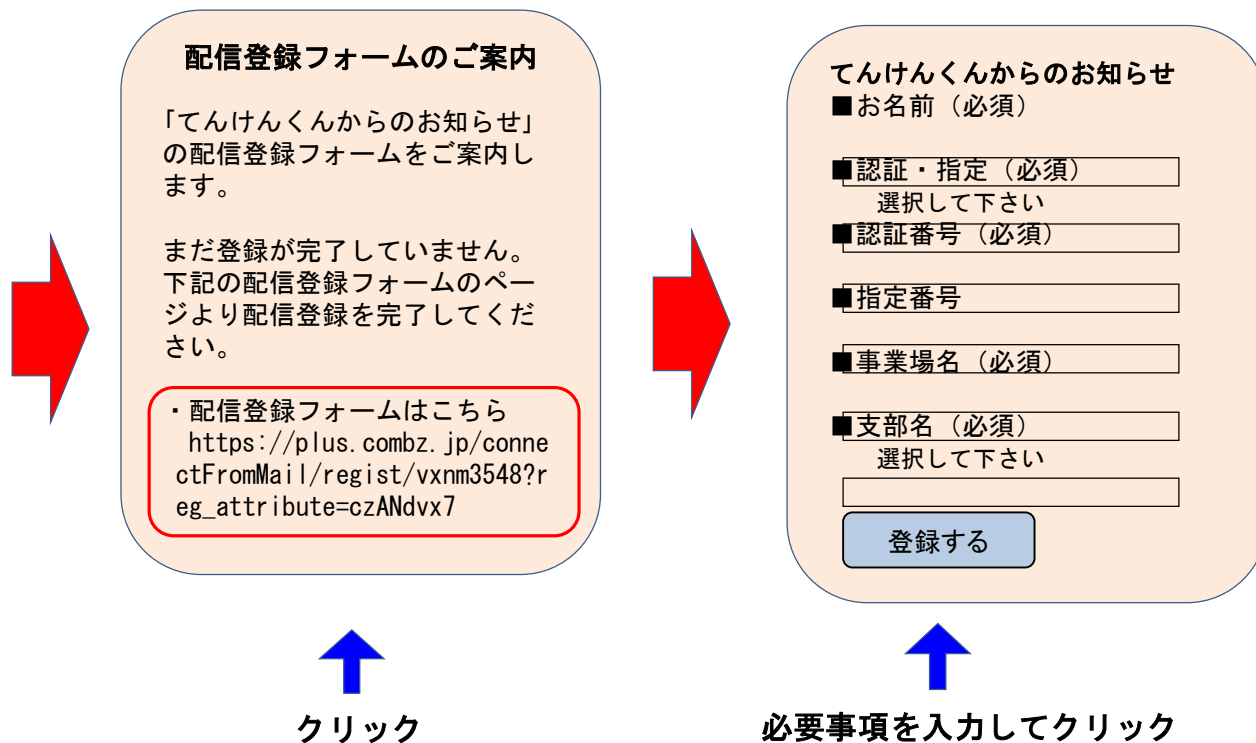
- ①携帯電話から下のQRコードを読み取るとメール作成画面に切り替わり、宛先に空メール用のメールアドレスが自動的に挿入されます。そのアドレスに空メールを送信します。



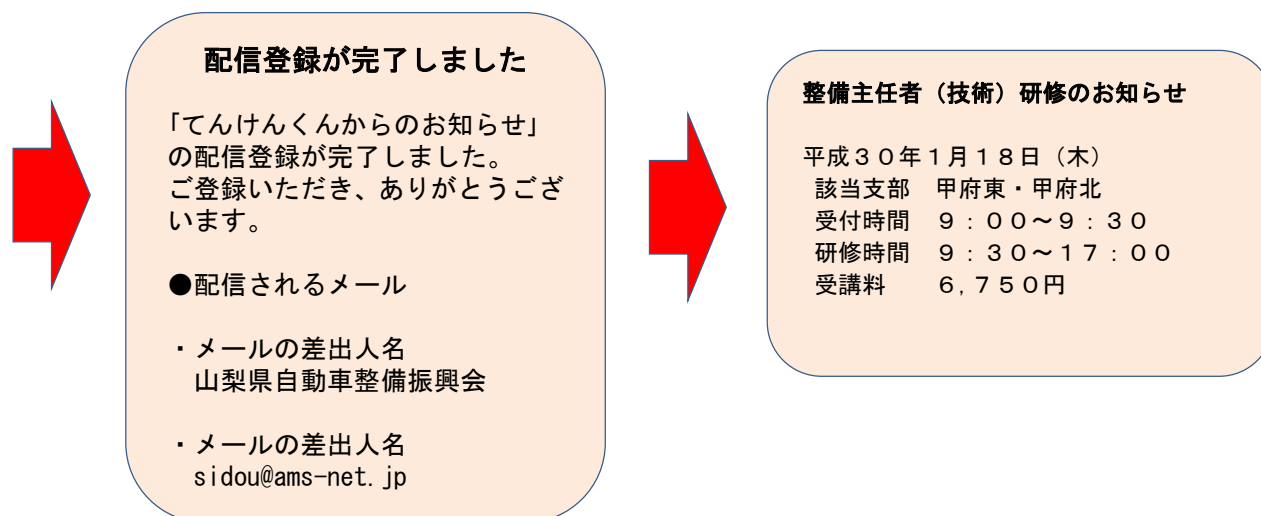
空メール送信



- ②本登録用アドレスが記載されたメールが返ってきますので、本登録用アドレスにアクセスし必要事項を入力して登録します。



- ③登録が完了しサーバーにリスト化され、登録完了メールが届きます。
登録完了メール以降、随時、携帯電話へ各種情報がメール配信されます。
（タイトルが表示されない機種もあります。）



※なお、メールが届かない場合は、携帯電話のメール受信設定等をご確認下さい。
（例：迷惑メールフィルター・メール拒否設定など）

配信情報の例

1. 整備主任者（法令）研修
2. 整備主任者（技術）研修
3. 検査員研修
4. 検査員教習
5. 技術講習所案内
6. 各種研修会（スキャンツール・ウインチ運転者・ハイブリッド・EV車整備）
7. ひき逃げ交通事故等の捜査に関する情報提供
8. 商工組合商品